

♪家も空も幸せも崩さなかった だけど心は崩さなかった♪

95年1月17日の阪神大震災で大きな被害を受けた神戸市長田区の新長田地区で、東日本大震災被災地への応援歌「帰りの途中」が生まれた。「1・17」にちなみ、長田の被災者ら11人が合唱したCDを製作。「ともに歩んでいこう」との思いを歌い上げた。定価1000円（税込み）で販売し、収益の一部を被災地に寄付する。

♪家も空も幸せも崩されただけどわたしたちは心を崩さなかった♪

眠ればいいやがて目覚め
勇気に生まれ変わり 新し
い未来がそこにある♪

参加した金物店店主、山中秀宣さん(68)は阪神大震災で友人を多く亡くした。「歌うたびに涙が出て、最初は声をうまく出せなかった。東北の被災者に生きていれば、いつか何とかなるぞと心を込めて歌った。

CDの問い合わせは「新長田音楽プロジェクト実行委員会事務局」(078・642・1120)。

【内橋寿明】

ともに歩もう

CD収録のために応援歌を歌う神戸市長田区の被災者たち
—同区で今年1月、「神戸写真研究会」提供



神戸・長田から被災地応援CD

NPO「再開発七ル活性化ネットワーク」(大阪市)や地元「新長田まちづくり株式会社」などが企画。地元在住・在勤者を対象に11人の「新長田合唱団」を公募したところ、7、87歳の男女が集まった。

歌手の鈴木雅之さんのヒット曲など計3000曲以上を手がけた作詞家、松本一起さんに作詞を依頼。松本さんは「長田の人たちも復興の途中。同じ被災者の歌と一緒に前を向いてもらえれば」と快諾した。

♪あきらめた時は静かに